

感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2024年第42週 (10月14～20日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2024年第1週から)

疾患名	報告数	累積
[1類]		
(報告なし)		
[2類]		
結核	198	12310
[3類]		
コレラ		2
細菌性赤痢	1	66
腸管出血性大腸菌感染症	96	3088
腸チフス	2	35
パラチフス		6
[4類]		
E型肝炎	5	422
A型肝炎		121
エキノкокクス症	1	12
エムボックス ¹⁾		18
オウム病		3
回帰熱		10
Q熱		6
コクシジオイデス症		2
ジカウイルス感染症		4
重症熱性血小板減少症候群	1	101
ダニ媒介脳炎		2
チクングニア熱	1	5
つつが虫病	2	116
デング熱	3	196
日本紅斑熱	28	389
日本脳炎		6
ブルセラ症		4
ボツリヌス症		4
マラリア		43
ライム病	2	25
類鼻疽		2
レジオネラ症	95	1912
レプトスピラ症	1	40
[5類]		
アメーバ赤痢	5	416
ウイルス性肝炎 ²⁾	1	180
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ³⁾	39	1760
急性弛緩性麻痺 ⁴⁾	2	38
急性脳炎 ⁵⁾	5	427
クリプトスポリジウム症		23
クロイツフェルト・ヤコブ病	3	131
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21	1615
後天性免疫不全症候群	10	808
ジアルジア症		32
侵襲性インフルエンザ菌感染症	6	500
侵襲性髄膜炎菌感染症	2	50
侵襲性肺炎球菌感染症	18	1904
水痘(入院例に限る)	6	382
梅毒	172	11691
播種性クリプトコックス症	4	162
破傷風		69
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	98
百日咳	122	2320
風しん		5
麻疹	2	34
薬剤耐性アシネトバクター感染症		5

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎およびA型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ ⁶⁾	3596	0.73
新型コロナウイルス感染症	9165	1.86
RSウイルス感染症	799	0.25
咽頭結膜熱	589	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5334	1.70
感染性胃腸炎	7205	2.29
水痘	453	0.14
手足口病	29416	9.37
伝染性紅斑	1045	0.33
突発性発しん	764	0.24
ヘルパンギーナ	816	0.26
流行性耳下腺炎	114	0.04
急性出血性結膜炎	6	0.01
流行性角結膜炎	263	0.38
細菌性髄膜炎 ⁷⁾	7	0.01
無菌性髄膜炎	21	0.04
マイコプラズマ肺炎	965	2.01
クラミジア肺炎 ⁸⁾	4	0.01
インフルエンザ(入院患者)	69	—
新型コロナウイルス感染症(入院患者)	956	—

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。8) オウム病を除く。

●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	↓	沖縄、鹿児島、茨城
新型コロナウイルス感染症	↓	岩手、北海道、山梨
RSウイルス感染症	↓	新潟、宮城、山形
咽頭結膜熱	↓	鹿児島、沖縄、福井
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	福岡、鳥取、茨城
感染性胃腸炎	↓	大分、福井、徳島
手足口病	↓	山形、宮城、福島
伝染性紅斑	↑	神奈川、東京、青森
ヘルパンギーナ	↓	山形、鹿児島、大分
流行性耳下腺炎	↑	熊本、佐賀
マイコプラズマ肺炎	↑	青森、佐賀、愛知

◆インフルエンザA(H1N1)変異型ウイルス：ベトナム

8月19日、ベトナムの国際保健規則(IHR)担当部局(NFP)は、ラオス人民民主共和国と国境を接するベトナム北部ソラ省で、豚由来のインフルエンザA(H1N1)変異型(v)ウイルスによるヒト感染例が確認されたことをWHOに通知した。